

ChattyInfty Ver. 3.04での修正項目

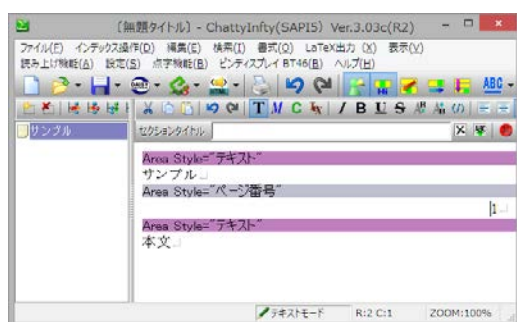
2015/07/03

1. ChattyInfty3のページ番号設定の簡素化

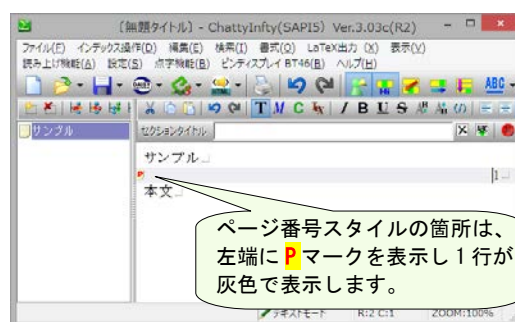
従来のChattyInfty Ver. 3.03 では、ページ番号を設定する場合に、編集画面のコンテキスト(右クリック)メニューから[スタイル設定]→[行単位]→[ページ番号]で設定していましたが、新しいバージョンでは、ショートカットキー **[Ctrl]+[Alt]+[P]** で簡単にページ番号の設定/解除が出来るようにしました。※[Ctrl]+[Shift]+[P]は印刷プレビュー機能ですので、押し間違えないよう注意してください。

また、編集画面に **Area Style="テキスト"** や **Area Style="ページ番号"** などのようにスタイル設定が帯状に表示されていましたが、新しい表示方法では、スタイル設定表示をOFFにした状態でページ番号の行を確認できるようにしています。

【従来の画面】



【新しい画面】

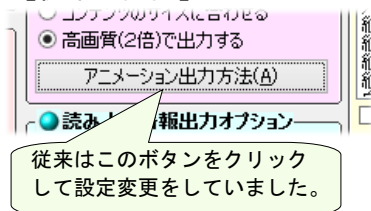


- ※ 新しい画面と同じように表示されない場合は、[表示]メニューから[スタイル表示]をクリックしてスタイル表示機能をOFFにしてください。
- ※ 最新版のインストールプログラムを使うと、スタイル表示機能はOFFに設定されます。スタイル表示機能が必要な場合は任意にONに設定してください。

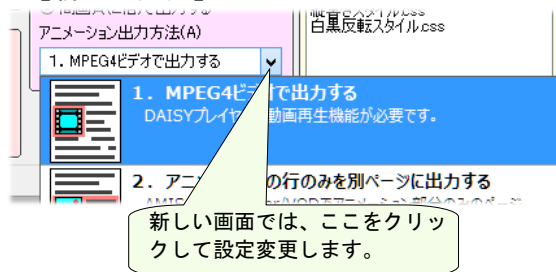
2. アニメーションの出力方法選択の変更

DAISY出力画面で、アニメーションの出力方法を切り替えるには[アニメーション出力方法]ボタンをクリックして、別画面で設定していましたが、新しいDAISY出力画面では、リストから選択するように変更しました。

【従来の画面】



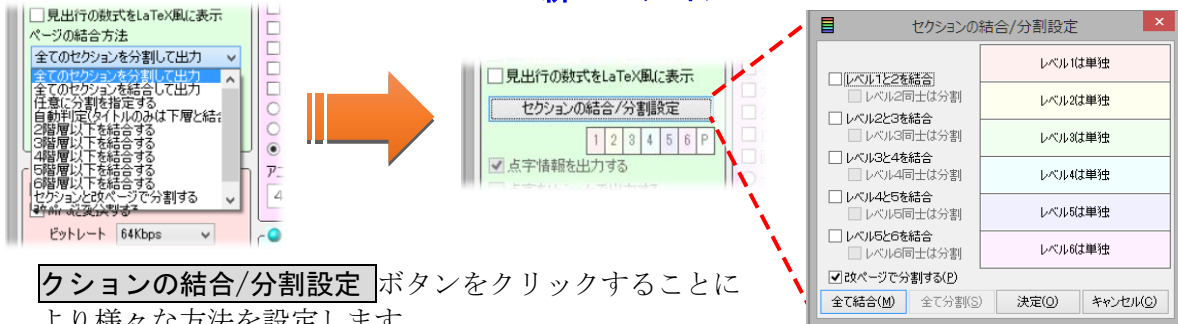
【新しい画面】



3. セクション分割/結合方法の変更

DAISY出力画面でのセクション分割方法を変更しました。

旧バージョンでのドロップダウンリストによる選択方法を廃止して、新バージョンでは「セ



クションの結合/分割設定 ボタンをクリックすることにより様々な方法を設定します。

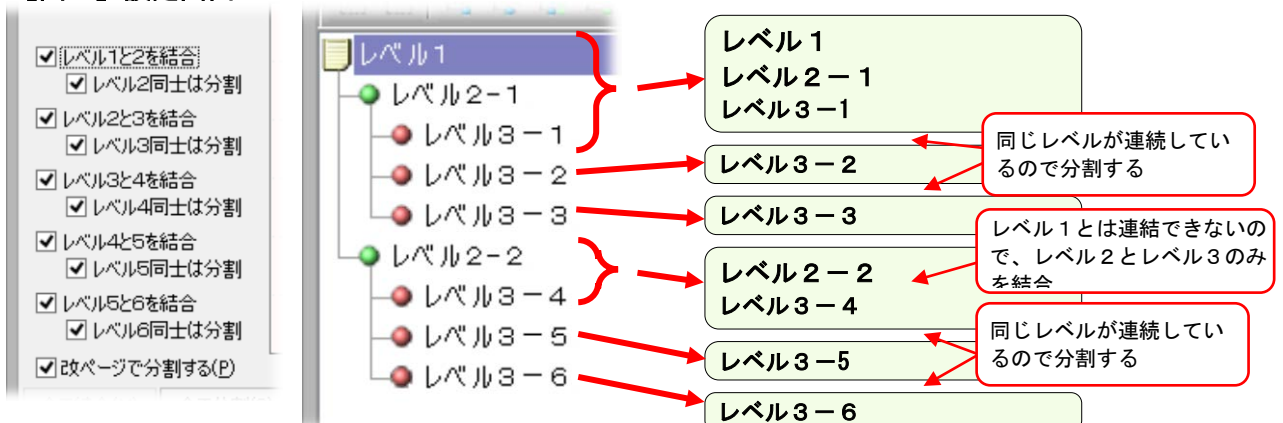
旧バージョン	新バージョン (設定画面での操作)
全てのセクションを分割して出力	全て分割 ボタンをクリック
全てのセクションを結合して出力	全て結合 ボタンをクリック
自動判定(タイトルのみは下層と結合)	廃止しました。
2階層以下を結合する	「レベル2と3を結合」以下を全てチェックON
3階層以下を結合する	「レベル3と4を結合」以下を全てチェックON
4階層以下を結合する	「レベル4と5を結合」以下を全てチェックON
5階層以下を結合する	「レベル4と5を結合」以下を全てチェックON
6階層以下を結合する	廃止しました。
セクションと改ページで分割する	全て分割 ボタンをクリックし「改ページで分割」をON
改ページで分割する	全て結合 ボタンをクリックし「改ページで分割」をON

(1). 旧バージョンとの比較

(2). 新しく可能になった分割方法

設定画面の「レベル2同士は分割」～「レベル6同士は分割」のチェックをONにすると、結合設定されたセクションでも、同じレベルのセクションが連続している場合は分割されます。つまり、下図1のように全てのチェックをONにした状態で下図2を出力すると下図3のよう

【図1】 設定画面 【図2】 コンテンツのセクション構造 【図3】 出力結果(HTML ファイル)



な出力結果になります。

4. セクションタイトルをつけた場合のDAISY出力に関して

ChattyInftyの編集画面でセクションタイトルをつけた場合に、DAISY出力時に、自動的に空欄の見出し行を挿入するようにしました。

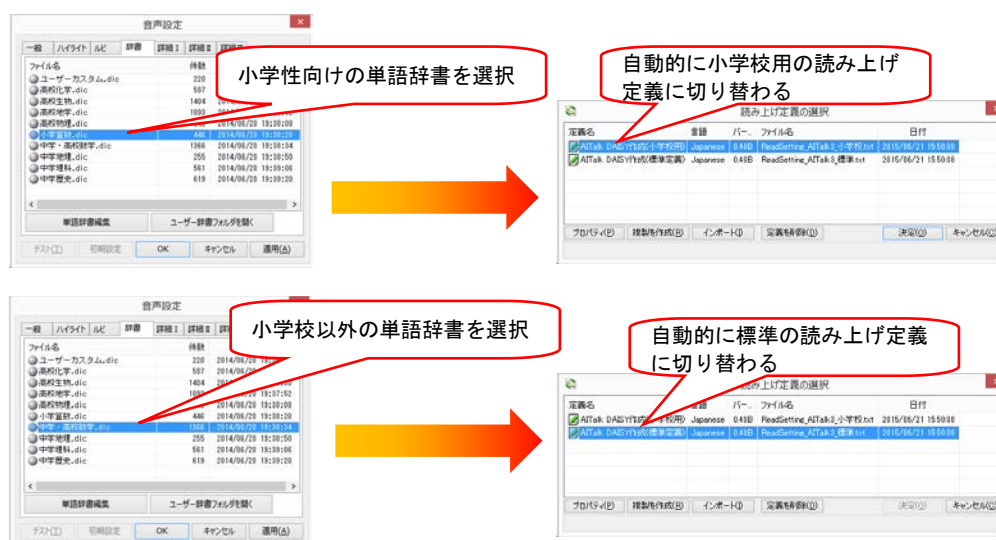
ページの1行目をハイライト分割するために、1行目にスペース等を入力してダミーのタイトル行を作り、セクションタイトルを入力するといった作業は不要になります。(この作業をDAISY出力の際に自動的に行います)

これにより、セクションタイトルを付けたページの1行目はタイトル行ではなくなるので、DAISY出力でもハイライト分割できるようになりますが、文字サイズが見出しサイズ(大きい文字)にはなりませんので、編集時に必要に応じて文字サイズを変更してください。

5. 単語辞書により読み上げ定義の自動切り替え (AITalk版のみ)

単語辞書に合った読み上げ定義の自動切り替え機能を追加しました。

この機能は、単語辞書の選択で辞書名に「小学」の名前が含まれている場合は読み上げ定義を自動的に小学校用に切り替え、「小学」の名前が含まれていない場合は標準の読み上げ定義に自動的に切り替えます。



また、IMLXに含まれている単語辞書の名前から自動判定して切り替わります。

つまり、小学校用の単語辞書を含むIMLXコンテンツを開けば「+」は「たす」と読み、高校用の単語辞書を含むIMLXコンテンツを開けば「+」は「プラス」と、自動的に読み上げ定義が切り替わります。